



支 町議会議員会主催講演会 援の大切さを説明

10月31日、厚岸情報館において『地域で安心して老いるために』と題して、釧路地区障害老人を支える会（たんぽぽの会）の岩渕雅子さんを講師に迎え、講演会が行われました。

この講演会は厚岸町議会議員会が主催したもので、会場には約150人の町民の皆さんが詰めかけ、満席となるほどに。

講演では、認知症など障がいを持つ高齢者の支援の他に、家族介護者にはうつ症状が出る人もいるため、介護する家族にも周りの支援が大切だと説明していました。

村 ふるさとフェア村山 山市で厚岸の特産品を提供

11月3日、友好都市である山形県村山市において『ふるさとフェア村山』が開催され、厚岸町からも町の特産品を持って参加し、水産物や加工品などを販売しました。

会場には多くの市民が訪れ、厚岸町の物販コーナーでも町の特産品を求め、開始前から多くの人が並ぶほど行列に。

今年も厚岸漁業協同組合から提供を受けたサンマと、釧路太田農業協同組合から提供を受けた牛乳を来場した市民に無料配布し、訪れた人たちは厚岸の味覚を堪能していました。



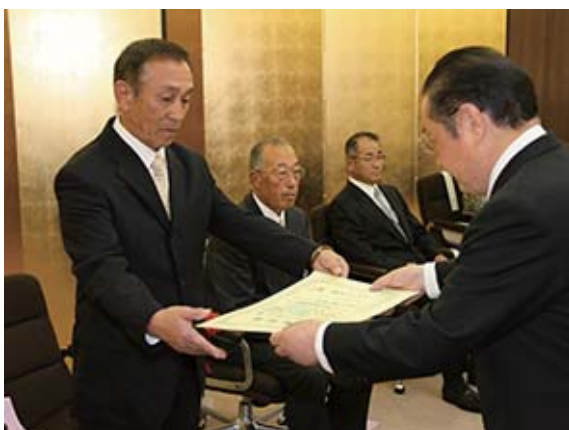
功 厚岸町功労者表彰式 労者5人を表彰

11月3日、役場庁舎議場において『厚岸町功労者表彰式』が行われ、平成27年度の功労者5人を町が表彰しました。

表彰者を代表して、濱谷義信さんが「皆様方の温かいご配慮により、本日の受賞の栄に浴させていただいたものと感謝申し上げます」とお礼の挨拶を述べました。

【平成27年度厚岸町功労表彰者】

濱谷義信（自治功労）、佐藤和義（自治功労）、木村一博（自治功労）、谷口弘（自治功労）、葛西松子（自治功労）



生 食生活教室 涯骨太クッキング

11月4日、保健福祉総合センターにおいて『食生活教室』が開催され、『肺の生活習慣病』をテーマとした学習会と、『生涯骨太』をテーマとした調理実習が行われました。

学習会では、有害な空気を吸い込むことで、気道や肺などに障害が生じる慢性閉塞肺疾患について学びました。

調理実習では5品の料理を作り、全ての献立に牛乳やチーズを使用。味付けに、醤油ではなく牛乳を使用する料理もあり、参加者は楽しみながら調理していました。



イベントや活動など、まちのニュースをお届けします



福 厚岸町障害者（児）ふれあいフェスティバル 社の理解を深めました

11月15日、社会福祉センターにおいて、第16回厚岸町障害者（児）ふれあいフェスティバル『こう福祉21』が開催され、雨が降る中、約500人が来場しました。

真竜保育所の子どもたちや北海道難病連厚岸・浜中支部、町職員有志による手話の歌で開幕。

会場では、日ごろの活動内容を紹介するポスターセッションやステージでの発表のほか、障がいを体験できる各コーナーが設けられ、来場者は福祉に対する理解を深めました。

こう福祉21は、誰もが支え合う社会の実現を目指して、毎年開催されています。

体 消費生活講演会 を冷やさない食事を

10月25日、厚岸情報館において『消費生活講演会』が開催され、町内外から約60人の参加がありました。

講師には、元警視庁刑事で犯罪学者・作家・コメンテーターとして多方面で活躍している北芝健さんを迎え、『健康における危機管理』をテーマに講演が行われました。

北芝さんによると、日本の食べ物は体を冷やす食べ物が多く、体を冷やさない食事を心がけることが大事だと述べ、参加者はメモを取るなどし、講演に聴き入っていました。



皆 厚岸町民文化祭作品展示会 さんの力作が勢ぞろい

10月30日から11月1日まで、『厚岸町民文化祭作品展示会』が社会福祉センターで行われ、書道や絵手紙、手工芸などの約600点の作品が並び、多くの人が鑑賞に訪れました。

繊細に表現された生け花や、道東の自然や動物をとらえた写真、かわいく描かれたイラストや絵手紙などの作品は、訪れた人を楽しませていました。

期間中には、厚岸映像集団「光風」によるデジタルカメラ操作説明会や、茶友会によるお茶会も開催されました。